



・はじめに

5月臨時議会と6月議会の報告です。臨時議会では任期後半の2年間の議会人事が決定しました。「欲はなく、決して怒らず、いつも静かに笑っている」をモットーにしているわけではないのですが、私は今回も無役。議会全体に影響を与える立場には付きませんでした(申し訳ありません)。残り任期は気持ちを切り替え、ICT活用や地域活性化、地域課題の解決等の自分の中の最優先事項に取り組んでいきます。

【一般質問①】稲城市におけるコミュニティの育成支援について

質問:第五次長期総合計画におけるコミュニティの定義とその課題は?

(回答)自治会や市民活動団体等、市民が組織する全ての団体を指すものであり、課題は、複雑化・多様化する地域課題を解決していくためには「継続した支援」が必要なこと、市民や団体回における連携・協力を促すことが必要なことの2点である。

質問:地域において自治会が担っている役割について、市の認識は?「高齢者の見守り」のような新たな「助け合い活動」を潜在的ニーズと捉えてはいるのか?

(回答)お祭り・環境美化・防災活動といった活動は多くの自治会が取り組んでおり、高齢者見守り等の福祉活動も約1/3が取り組んでいる。アンケート等では潜在的ニーズとする考え方は無かったが、地域から相談があれば適切に対応していく。
※加入率低下・担い手不足といった自治会の課題の根本原因は、「従来の自治会活動が、今の住民の価値観やライフスタイルに合っていないから」と考え、このような質問をしました。コロナ禍でこれまでと同じ活動ができないからこそ、今の時代に合致した、住民に求められる自治会活動とは何か、といった視点での見直しが必要と考えています。

質問:「自治会活動及び市民活動に対する支援」について、具体的な内容は?

(回答)自治会への加入促進や新規設立の支援、市民活動団体への活動の場や情報の提供、などの支援を行っていく。加入促進の広報については、コロナ禍で成果が出ていないが、SNSやメール、リモート会議等を活用する事例も増えていることから、新しい支援の在り方を検討していく。

質問:万一の事故への備えとして「自治会活動保険」に対する市の考えは?他市では、行政自身が加入したり、情報提供したり、といった事例もある。
(回答)市主催・共催事業では「市民総合賠償補償保険」に加入しており、自治会等の自主的活動については、個別に加入してもらいたい。なお、保険に関する情報提供の方法については江戸川区等の事例も含め検討していく。

質問:稲城市としての今後の取り組み方針は?

(回答)コミュニティの形成および育成を支援すること、全てのコミュニティ間の連携・協力を促すこと、を目指していく。アンケート実施や自治会連合会の情報連絡会等、直接ご意見を聞く場も設けていく。

【一般質問②】若葉台駅前周辺の空き店舗について

質問:iプラザ2階の学習塾、ケーズデンキ隣のレストランに続き、三井住友銀行の閉店(移転)が予定されているが、市の認識は?

(回答)各店舗の閉店はそれぞれの経営判断によるものと認識している。現在はネットサービス等により店の形態や消費行動が大きく変化しているので悲観的に捉えることは無いと考えており、市としては今後の動向を見守っていく。その一方で、市としても空き店舗への早期参入は期待しているため、出店環境の向上にも努めていく。

※この考え方には、私も100%同意します。ネット活用が進んだ現代は店舗の在り方も買物の仕方も変わっていくのは当然なので、昔ながらの商業施設のイメージに捉われる必要は無いと考えます。

【一般質問③】新型コロナワクチン接種受付について

質問:ワクチン接種予約の今後の見通しは?

(回答)先にお答えしたとおり(職域・大規模接種に対応できるよう、7/1より接種券を発送する)

※他の議員からも多くの質問が出ていたため、私としては次の1点のみをお願いしました。

「紙の接種券にこだわりすぎず、ICTによる接種記録の管理も検討の選択肢に加えてください。例えば、ヘルスマミュレットという民間が提供するスマホアプリがあります。このアプリは、ファイザー社やモデルナ社と提携し、2社の新型コロナワクチンの接種記録の管理に対応しています。主な機能は、①接種予定日の入力、②ワクチン接種シールのQRコード読み込み、③ワクチン接種証の画像保存、などがあります。」

ヘルスマミュレットWebサイト(株式会社ミナケア)
<https://www.health-amulet.net/>

任期後半(2021.5～)の市議会体制について

今期後半の市議会の体制

稲城市議会では議長は2年で交代が慣例でしたが、渡辺議長・つのだ副議長の続投が決まりました。私は、コロナ禍が継続している緊急事態には、議会の無用な混乱を避けるべきとの考えから、この体制を支持しています。また議会運営委員会および常任委員会の委員長、監査といった要職のほとんどは大会派の「新政会」から選出されています。我が会派「起風会」からも鈴木誠議員が福祉文教委員会の委員長となりましたが、3名以上会派が多数の現状では2名会派「起風会」は発言力・影響力の面で少々厳しい状況です。

全体としては、市民クラブが議会運営委員会の副委員長を取った以外は、大きな変化はありませんので、前半に引き続き、安定した議会運営となりそうです。

任期後半の私の役職は「総務委員会 委員」「議会運営委員会 委員」「稲城市土地開発公社 評議員」です。議会の中での発言力はほとんど無く、議会改革を目指した選挙公約の実現性はかなり低くなってしまいました。そのため、改めて「現場主義」を活動の中心に据えることに心を決め、地域コミュニティの現場でのICT活用の推進、マルシェ等による地域活性化、持続可能な自治会運営などに取り組もうと考えています。

【前回(～2021.4)の会派構成】

①	北浜けんいち⑤	(無所属)
②	中山けんじ⑤	(自民党)
③	渡辺 力③	(自民党)
④	新政会	
⑤	坂田たけふみ③	(無所属)
⑥	池田英司②	(無所属)
⑦	角田政信①	(無所属)
⑧	川村あや①	(無所属)
⑨	梶浦みさこ④	(国民民主)
⑩	公明党	
⑪	つのだ寛美③	(公明党)
⑫	市瀬ひさ子②	(公明党)
⑬	佐藤しんじ①	(公明党)
⑭	起風会	
⑮	鈴木 誠③	(無所属)
⑯	中田 中③	(無所属)
⑰	改革稲城	
⑱	岩佐ゆきひろ③	(無所属)
⑲	榎本久春②	(無所属)
⑳	共産党	
㉑	岡田まなぶ⑤	(共産党)
㉒	山岸太一②	(共産党)
㉓	田島きく子①	(共産党)
㉔	市民クラブ	
㉕	村上洋子②	(ネット)
㉖	武田まさひと①	(立憲民主)
㉗	いそむらあきこ①	(無所属)
㉘	あらい健⑨	(無所属)

【今回(2021.5～)の会派構成と役職】

①	無所属	渡辺 力③	(自民党)	議長
②	代表	北浜けんいち⑤	(無所属)	総務 委員長
③		中山けんじ⑤	(自民党)	
④	新政会	坂田たけふみ③	(無所属)	議会運営 委員長
⑤	(7名)	池田英司②	(無所属)	監査
⑥		角田政信①	(無所属)	
⑦		川村あや①	(無所属)	
⑧		梶浦みさこ④	(国民民主)	建設環境 委員長
⑨	公明党	つのだ寛美③	(公明党)	副議長
⑩	(3名)	市瀬ひさ子②	(公明党)	
⑪	代表	佐藤しんじ①	(公明党)	
⑫	起風会	鈴木 誠③	(無所属)	福祉文教 委員長
⑬	(2名)	中田 中③	(無所属)	
⑭	代表	改革稲城	岩佐ゆきひろ③	(無所属)
⑮	(2名)	榎本久春②	(無所属)	福祉文教 副委員長
⑯	代表	共産党	岡田まなぶ⑤	(共産党)
⑰	(3名)	山岸太一②	(共産党)	総務 副委員長
⑱		田島きく子①	(共産党)	
⑲	代表	市民クラブ	いそむらあきこ①	(無所属)
⑳	(4名)	村上洋子②	(ネット)	議会運営 副委員長
㉑		武田まさひと①	(立憲民主)	建設環境 副委員長
㉒		あらい健⑨	(無所属)	

※議員名横の丸数字は期数です

【編集後記】

私が地域活動に関わり始めて以来、ずっと一緒に取り組んできた“師匠または同志”とも呼ぶべき方が5月末に急逝されました。その方の思いを少しでも形にしたいと考えて、今回の一般質問を選びました。地域の課題は複雑化・多様化しており、コミュニティの重要性はますます高まっていますが、まだまだ一部の人の頑張り依存しているのが現状です。この状況の改善に取り組んでいきます。

編集・発行：「中田中を応援する会」

〒206-0824

稲城市若葉台3-1-1若葉台ワルツの杜F401
(携帯) 090-3596-5118

(メール) ataru.nakata@gmail.com

(ホームページ) <http://ataru-nakata.com>
(Facebook)

<http://facebook.com/ataru.nakata>

(Twitter) @ataru3